

世界の 温度の標準は

温度センサで80年間戦いつづけた人達の物語

日本のチノーが 決めている

泉谷 渉

Izumiya Wataru

目次

序章

チノーを生きることとはIOT時代を生きることだ
― センサが主役となるステージに「温度」を武器に戦う哲学 ―

15

IOTは第4の産業革命、主役のセンサの世界トップシェア持つ日本に超追い風
世界の温度の標準を持つチノーは会社設立80周年、一切人を切らない経営
チノーはIOT時代に対応し、無線通信、センサの技術を駆使した新展開

16

17

19

第1章

これが世界を狙う温度のチノーの全貌だ
― 80年間で戦い抜いた開発・生産・営業の現状と未来形 ―

21

温度のチノーは主力製品の競争力アップに全力投球、海外生産も強化

22

2016年7月から藤岡事業所長に就任、品質／スピードを重視

25

九工大大学院を出て富士電機、海外協力隊、日産を経てチノー入りし頑張る

26

営業30年のキャリアで久喜事業所のトップ、完全なナンバーワン目指す方向

27

チノーの看板の温度センサ一筋に33年の部長、山形の生産一筋24年の課長

28

「みんな死に物狂いで会社で勉強した!!」― 修羅場をくぐったベテランたち

30

第2章

それは御徒町の小さな町工場から始まった物語
〜チノ〜創業者の千野一雄さんは数々の伝説を残した

33

大正2年に東京御徒町で千野製作所が創業、しかし関東大震災ですべてを失う

34

震災復興ブームに乗り躍進、「電気炉の千野」として一気に頭角を現す

35

昭和11年に株式会社に移行、東京大空襲によりまたも本社／工場をすべて焼失

37

多品種少量生産方式を捨て、計測器の製作に集中というサプライズ方針

38

第3章

温湿度を握るカンパニーが一大飛躍していく！
〜知能Ⅱチノ〜という発想で発展を築いた二代目青木清さん

41

少数で戦えば、必ず精鋭のチームが出来上がるという信念

42

昭和61年に社名をチノーに変更、人工知能を先取りした命名名であった

43

赤外線応用計測機器、温度記録計をトップシェアに押し上げる

44

青木清カルチャーはチノーの根幹として歴代社長に続いていく

45

第4章

いくつもの開発がサプライズを生んでいく
〜黄金の武器「温度センサ」ベースに新展開狙う開発部隊

49

計測・制御のイノベーションはすべて温度センサから始まる

50

センサと無線通信の組み合わせ、生活支援ロボットなど新開発急ピッチ

52

第5章

売っていくものは安全・安定・信頼なのだ

「厳しい顧客の品質評価に対応するチノー営業部隊

子会社に13年飛ばされても取締役になり、海外営業に全力投球

運と周りの協力と良い商品、またお客様にも恵まれて良い仕事できた

チノーは典型的な「営業技術」の会社、エンジニアが売っていくのだ

内作拡大、オンリーワン追求、女性力活用が今後の営業の改善点

第6章

女性たちが見た「チノー」というステージ

「働きやすい職場評価で結婚しても働く人が多い

女性力活かし、事務職でもモノをきっちり売ってみせる――

チノー藤岡の女性の感性で見た目のきれいな追求すれば、製品は必ず良くなる――

チノー久喜で26年間を過ごし、検査一筋で幸せ――という女性の人生観

チノー山形は春夏秋冬のイベントで活力、忍耐強い女性たちが活躍している

アーズは無線通信センサを多角展開し、エネルギー、ヘルスケアに注力

超大手に行っても埋もれるだけの人生、チノーの開発の自由度が大好き

制御システム30年の男、最近は植物が持つ多様性を計測制御に応用

ニッチなところに入っていくのがチノーの原点、カスタマイズ追求を主張する

第7章

「会議で意見が出ない男性たち」に失望する女性は多く、辛口意見もある
チノの一員として誇りを持ち、定年まで勤め上げたいと考える女性は多いのだ
責められることはあっても、褒められることはない、という立場でも頑張る

81
82
83

チノー藤岡事業所は計測制御機器・

計装システムなどのグループ最大工場

機器開発センターはグローバル展開の発信基地

「かかあ天下にからっ風」の上州にある藤岡事業所は女性が主役

計装システムは自動車、エレクトロニクスなどあらゆる産業に多く採用

藤岡開設50周年でリニューアル、機器開発センターが稼働

チノービオトープフォレストは環境保全を評価され、関東経済産業局長賞

87
88
88
90
90

第8章

チノー久喜事業所はお家芸の温度計

温度センサの量産拠点

3000℃の高温炉測定、極低温センサも独壇場

温度の世界的標準を持つチノーのセンサ技術

温度計測センサは看板製品、超高温から極低温まで測定

燃料電池評価試験装置や熱画像計測にも注力

93
94
95
96

第9章

チノー山形事業所はセンサの大量産拠点

「植物工場、水素エネルギーなどに新展開」

セル生産で大成功するもロボット活用など検討

中国向けの環境関連などに展開を計画

プリント基板、センサデバイスの拠点として活躍

久永事業所長は定年で契約社員となったが、2年後になんと取締役に就任

園芸施設内の環境観測器を2016年2月に発売し、農業分野に本格参入狙う

プラスチック成形増設、プリント基板実装増強など、生産改革急ピッチ

2013年に太陽光パネル設置、エネルギー、農業、医療などに新展開

第10章

「80年間にわたり一切人を切らない経営を貫く!!」

「特別インタビュー」(株)チノー代表取締役社長 荻谷嵩夫さん

会津若松で育ち、父は挿絵画家で著名な荻谷鷹行(画号・深隍)さん

グローバルニッチで頭角をあらわし、女性にも12カ月ボーナスが出る会社で評判に

山形チノーを率い、センサトップの実績を作っていく

「在庫をどんどん作れ!」という逆バリ経営で危機乗り越える

「温度のチノー」に原点回帰し、横展開技術で未来形を探る

終章

チノーはきらめく小さな星、
その未来を語ろう
ゝあとかきにかえて

117

チノーの歩み（大正2年ゝ平成28年）

120



書 名世界の温度の標準は日本のチノーが決めている
体裁・頁数B5 判 130 頁
定 価2,500 円 + 税